



志木中だより

6月号 令和3年5月31日

【学校教育目標】

- ・考える人
- ・思いやりのある人
- ・たくましい人

志木市立志木中学校 志木市柏町3丁目2番2号
048(471)0143 FAX 048(474)6592
URL <http://www.shikichu.ed.jp/>

校長 小林良昭

『環境は人を生み出す』

依然として続くコロナウイルス感染症の拡大に伴い、当初5月末日までの「まん延防止等重点措置」の期間が6月20日まで延長されました。引き続き、教育活動の自粛要請に基づく措置も含まれており、更なる衛生管理や感染対策の徹底等の条件を付して、一定の制約条件のもとに、教育活動を進めて参りますことに、保護者の皆さまには、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

1. グッド・フィーリング効果 ～人は環境をつくり、環境は人を生み出す～

私たちは心地いいと感じる環境にいっしょにいると相手に好感を抱きやすくなると言われていました。心理学者グリフィットが行った調査によると、環境が感情に影響を与えるのだそうです。初対面の男女グループを「自然光の入る明るい部屋」と「ソファや音楽で心地よくなるように工夫した薄暗い部屋」にいれ、彼らの様子を数時間観察しました。当然、後者のグループ内の男女の方が圧倒的に会話が弾んだそうです。

これは、心地よい環境が人の心にリラックス効果を与え、一緒に過ごした相手への好感度もアップしたせいではないかと考えられています。要するに、気分がいい時に誰かと一緒にいると、脳がその気分の良さを相手によるものだと勘違いしてしまい、一緒にいた人の好感度がアップするといいますが、その気分の良さは相手によるものだと勘違いしてしまうことを言います。逆に、あまりよくない環境にいっしょにいると、相手への印象が悪くなるとも言われています。大切な相手と一緒に会話する時には、美味しくて雰囲気の良いお店や景色の素晴らしいところを選ぶようにするとお互いの好感度が高まるそうです。

さて、この「グッド・フィーリング」という効果を皆さんの学校生活に置き換えてみましょう。「教室に入った時」「授業（学習）が始まる時」「給食が始まる時」「清掃が始まる時」「部活動が始まる時」等々、様々な場面に遭遇します。その時の自分自身の気分は、どんな気分になっているのでしょうか。「さあ、がんばるぞ!」という気持ちが湧くような環境を皆さん一人一人が整えることも大切なことではないでしょうか。「落ち着いた雰囲気」「きれいな教室」「清掃の行き届いた校舎」等、身近な環境に一人一人が目を向けてみましょう。そこにはきっと「グッド・フィーリング」が感じられると思います。

2. 定期テストを終えて・・・

過日、5月14日(金)に、第1学期中間テストが行われました。1年生にとっては中学校に入学して初めての定期テストとなりました。小学校時代とは雰囲気も違い、各々緊張した表情でしたが、勉強した成果は発揮できたでしょうか。定期テストを終えて大切なことは、きちんと学習の振り返りをするということです。点数だけをみて一喜一憂するのではなく、誤ったところを着実に理解し自分のものにしていきましょう。